



目次

- ◆ 愛宕山ふくろう公園（山口県岩国市）
- ◆ 愛宕山地区における米軍再編整備事業を振り返って
- ◆ 蜂ヶ峰総合公園にぎわい創出拠点施設（山口県和木町）
- ◆ 漁船巻揚施設竣工式（広島県大竹市）
- ◆ （住宅防音事業）外郭防音工事についてのお知らせ
- ◆ 住宅防音事業の事務手続きに係る押印見直し等について
- ◆ 陸上自衛隊日本原演習場における「米軍単独訓練」の実施
- ◆ 岩国飛行場のF-35Bへの機種更新について
- ◆ 米海兵隊岩国航空基地の航空消防隊による航空機事故対処訓練
- ◆ 海上自衛隊 音響測定艦「あき」引渡式、自衛艦授与式
- ◆ 高知県の赤岡宿舎における津波対策の非常階段設置工事完了
- ◆ 中国四国防衛局入札監視委員会 局長感謝状贈呈
- ◆ 中国四国防衛局 退職者表彰（令和3年3月31日）
- ◆ 航空自衛隊 第3輸送航空隊司令 御挨拶（美保基地）
- ◆ 中国四国防衛局 職員日記（調達部）
- ◆ 中国四国防衛局 玉野防衛事務所の紹介
- ◆ 中国四国防衛局 職員日記（玉野防衛事務所）
- ◆ 中国四国防衛局 新規採用者の紹介（令和3年4月1日付）
- ◆ 在日米軍基地で勤務する従業員募集のお知らせ
- ◆ 海上自衛隊呉史料館維持管理運営事業について



日本の安全保障に貢献。
在日米軍従業員
募集案内
在日米軍基地での勤務を希望される方のために

詳しくは、独立行政法人
駐留軍等労働者労務管理機構
ホームページ(QRコード)で
御覧頂けます。





愛宕山ふくろう公園（山口県岩国市）

令和3年3月27日、山口県岩国市愛宕町に「愛宕山ふくろう公園」が開園し、同日午前10時からオープニングイベントが、福田良彦岩国市長、藤本泰也同市議会議長、地元自治会長等の列席のもと行われました。

同公園は、岩国市が「まちづくり支援事業（愛宕地区）」の一環として、平成24年度から整備を進めてきました。



福田岩国市長 祝辞



森田中国四国防衛局長（中央）



藤本岩国市議会議長 祝辞

大型複合遊具



屋根付き広場



屋外ステージ



マンホールトイレ

シンボルとなる長さ50mのローラーすべり台が付いた大型複合遊具のほか、天候に左右されることなくフリーマーケットなど多目的に利用できる屋根付き広場やコンサートなど各種イベントが実施できる屋外ステージも整備されました。

また、備蓄倉庫や100トンの飲料水と60トンの生活用水を確保できる貯水槽、マンホールの蓋を開けて簡易テントと椅子を設置することで災害用トイレとなるマンホールトイレもあわせて整備しています。

平常時は市民の憩いの場や交流の場となる公園として開放され、大規模災害時には、隣接する「岩国医療センター」や「いわくに消防防災センター」と連携し、近隣住民の一時的な避難場所や支援物資の集積場として活用されます。

当局としては、防衛施設周辺にお住いの皆様の生活の安定と福祉の向上に資するよう引き続き取り組んでまいります。

事業概要

【まちづくり支援事業（愛宕地区）】

- 総事業費：約8.7億円
- 総補助額：約6.5億円（補助率：7.5/10）
- 事業内容：防災センター（H23年度～H27年度）
多目的広場（H24年度～R2年度）



整備箇所

※地理院地図（国土地理院）を加工して作成



いわくに消防防災センター



多目的広場（愛宕山ふくろう公園）

写真提供：岩国市



愛宕山地区における米軍再編整備事業を振り返って ～経験及び技術の継承を目指す～

「再編実施のための日米ロードマップ」に基づき、地元の皆様のご理解とご協力の下、昨年2月に米海兵隊岩国飛行場の米軍再編整備事業※が完了しました。事に愛宕山地区については、平成23年度に山口県から愛宕山地域開発事業跡地を購入、平成24年度から基本設計、実施設計を行い、平成25年度から造成工事に着手し、職員一丸となってあらゆる技術を駆使するとともに建設工事に係る様々な調整等を行い約7年という歳月を費やし、米軍家族住宅のほか、運動施設としては野球場（絆スタジアム）、陸上競技場（55フィールド）、ソフトボール場、テニスコート、バーベキュー施設及び文化交流施設などの完成に至りました。

特に、愛宕山地区の運動施設は、日米が共同で利用できる施設であることから、地元の皆様に親しまれる施設の建設を目指し技術職員が苦心して完成させた経緯もあり、今後、このような事業の経験や技術力を組織として継承し、より良い施設の建設を目指していきたいと考えます。

※ 米海兵隊岩国航空基地では、駐機場、庁舎、整備場などの施設整備に加え、学校、診療所、家族住宅などの生活関連施設を整備し、愛宕山地区においては、米軍再編関連施設を整備するための用地として、防衛省が山口県住宅供給公社から購入し、米空母艦載機の移駐に必要な家族住宅や運動施設等の整備を実施



関係者からのメッセージ 近畿中部防衛局 調達部長 木村泰和

私は、平成29年（2017）8月から令和2年（2020）6月までの約3年間、中国四国防衛局の調達部次長の席に就き、大半は、米海兵隊岩国飛行場内にある防衛局の工事監督官事務所に居て、計画調整担当や、建築、土木及び設備の工事監督官達とともに、令和2年（2020）2月に全ての工事が完成した米軍再編整備事業などの米軍との調整や工事の管理などの仕事をしておりました。

私が着任して直ぐ、愛宕ヒルズ（米軍家族住宅地区）の岩国市議会議員の方々への内覧会があり、案内役の一人を務めました。愛宕ヒルズと愛宕スポーツコンプレックスとなった運動施設地区の施設の整備は、国立病院機構岩国医療センター、いわくに消防防災センター及び特別養護老人ホームなど、医療、防災及び福祉の公共施設や住宅地の近くで数多くの工事を行いますので、騒音、振動及び粉塵などの対策はもとより、工事敷地外に借地をして工事車両をプールする駐車場を設けたりしながら、周辺道路の交通の状況にも常に注意し工事を進めていたものです。

飛行場と愛宕山の周辺道路の交通と工事車両通行の状況を確認するため、職員と手分けをして、早朝から周辺道路を逐次巡回し、要所要所の交差点や通学路などに立っていますと、市民の方から、工事車両通行でのお叱りをいただいたり、「防衛さん、交通安全と渋滞対策をしっかりと頼むよ！」など、励みになるお言葉をいただくこともありました。



また、愛宕山には、自治会で大事にされている蜷が飛び交う水路もありますが、自治会の方々のお話も伺いながら、工事による濁水が周辺に流れ出ないように対策を施し、降雨の度、工事エリアから雨水が流れる先の数か所の調整池や水路の様子を職員が確認していたところです。

岩国市と共同使用の愛宕スポーツコンプレックスのそれぞれの運動施設は、岩国飛行場の米軍人やその家族はもとより、バーベキュー、ウォーキングやジョギング、少年少女のソフトボール、野球クラブの試合や高校野球大会、陸上競技会、学校の陸上部やサッカー部などの活動、そして、フリーマーケットや日米親善リレーマラソンなど、岩国市民の方々が広く有意義に利用されています。

愛宕山に参り、この様子を見ては、米軍、岩国市そして防衛省が三位一体となって、日米の文化や基準・法令の違いなど、施設整備に関する様々な課題を乗り越えたことのシンボルとなる事業に携われたという思いを深くしておりました。

岩国飛行場の米軍再編事業の施設整備工事では、岩国市をはじめ、岩国市商工会議所、岩国市漁協及び関係自治会などの皆様方に格別のご理解とご協力を賜りましたことを、改めて、厚く感謝申し上げます。





蜂ヶ峯総合公園にぎわい創出拠点施設(和木町)

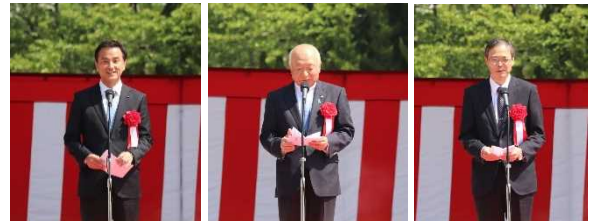
令和3年4月24日、山口県和木町の蜂ヶ峯総合公園で、にぎわい創出拠点施設のオープニングセレモニーが、村岡嗣政山口県知事、柳居俊学山口県議会議員、米本正明和木町長等の列席のもと行われました。



オープニングセレモニー



米本和木町長 挨拶



村岡山口県知事 柳井山口県議会議員 森田防衛局長

本施設は、山口県東部地域における観光拠点整備の一環として、和木町蜂ヶ峯総合公園の既存施設と連携した、多くの人が集い、交流し、にぎわいを生み出す新たなエリアを同公園内に整備することを目的とし、公募により愛称が「Bee+（ビープラス）」と名付けられました。

「Bee+」には、2棟の屋内施設が、ぬくもりのある木造で建設されており、様々な利用が可能な多目的ルーム、観光インフォメーション・物販等コーナーや飲食施設、そしてこども用トイレも備えられています



Bee+ 全景



交流棟



レストラン棟

また、屋外施設の「こども広場」には高さ9メートルの木登り遊具、ドーム状のトランポリン遊具等、「光の広場」には夜間イルミネーション照明が整備されました。

この施設は、山口県が補助事業者、一般財団法人和木町蜂ヶ峯総合公園管理協会が間接補助事業者となり、再編関連特別地域整備事業として総事業費約6億84百万円のうち交付金約6億82百万円が活用されました。

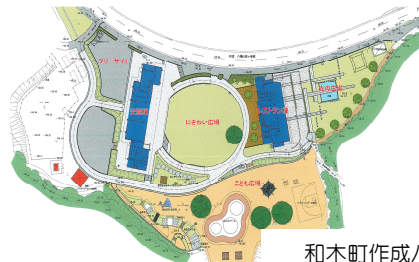
当局としては、今後とも防衛施設周辺の住民の方々の生活環境の改善のための各種施策の実施に取り組んでまいります。



こどもの広場（左側：木登り遊具、右側：ドーム状トランポリン遊具）



Bee+エリア全体平面図



和木町作成パンフレットより



光の広場(イルミネーション照明)



漁船巻揚施設 竣工式典（大竹市）

令和3年3月30日、広島県大竹市阿多田漁港の船揚場に漁船巻揚施設が完成しました。

同日、竣工式典が、入山欣郎大竹市長、細川雅子同市議会議長、川原秀正阿多田島漁業協同組合長等の列席のもと行われました。



森田中国四国防衛局長 祝辞



入山大竹市長 祝辞



船揚場全景



この巻揚施設は、防衛施設の設置・運用による障害を緩和し、漁業経営の安定を図るため、大竹市及び阿多田島漁業協同組合が事業主体となり、総事業費約1億5千万円（うち防衛省補助金約1億円）を投じ令和元年度から整備を進めてきました。

これまで漁船の修理に利用されていた既存の巻揚施設は、老朽化により稼働率が低下し、効率的な漁ができないなど、漁業者への負担が大きくなっていました。

新たに整備した巻揚施設は、近年大型化している漁船に対応した施設であり、これにより漁船整備の作業時間の短縮が図られ、円滑な漁を実施することが期待されます。

当局としては、防衛施設周辺の住民の方々の生活環境の改善や事業経営の安定のための各種施策の実施に取り組んでまいります。

※写真提供：大竹市



【整備前】巻揚施設（ウインチ小屋）※



【整備後】巻揚施設（ウインチ小屋）



【整備前】巻揚施設（ウインチ）※



【整備後】巻揚施設（ウインチ）





(住宅防音事業)外郭防音工事についてお知らせ

① 岩国飛行場周辺住宅防音事業における外郭防音工事^(※1)の対象住宅は、令和3年度から下記のとおりとなりますので、お知らせします。

区域	対象住宅（下線部分が新たに対象となった住宅）	特記事項
85W以上	<p>(1) 防音工事を実施していない住宅(集合住宅の場合は住戸。以下同じ。)</p> <p>(2) 防音工事（一挙防音工事^(※2)、新規防音工事^(※3)、追加防音工事^(※4)、防音区画改善工事^(※5)）を実施している住宅であって、以下の事項に該当する住宅 ア 防音工事を実施していない居室がある住宅 各防音工事が完了した日から10年以上経過している場合^{【特記事項Ⅰ】}</p> <p><u>イ 防音工事を実施していない居室がない住宅</u> <u>各防音工事が完了した日から10年以上が経過している場合であって、原則として、防音建具機能復旧工事^(※6)に併せて外郭防音工事を実施する場合</u>^{【特記事項Ⅱ、Ⅲ】}</p>	<p>I 新規防音工事のみを実施している住宅は、工事完了の日から10年未満であっても対象となります。</p> <p>II 新規防音工事分の防音建具機能復旧工事に併せて外郭防音工事を実施したいとしても、追加防音工事又は防音区画改善工事を実施している場合には、これらの防音工事が完了した日から10年以上経過していなければ、外郭防音工事の対象とすることはできません。</p> <p>III 集合住宅については、様々なケース等があることから、対象となる住宅かどうか、事前にご相談・ご確認ください。</p> <p>IV 一挙防音工事等を実施した住戸の外郭防音工事と防音工事を実施していない住戸の外郭防音工事を同時期に実施することにより混在することとなる場合を含みます。</p>
80W以上 85W未満	<p>(1) 防音工事を実施していない住宅</p> <p>(2) 防音工事（一挙防音工事^(※2)、新規防音工事^(※3)、追加防音工事^(※4)、防音区画改善工事^(※5)）を実施し、これらの防音工事が完了した日から10年以上経過している場合で、防音工事を実施していない居室がある住宅^{【特記事項Ⅰ】}</p> <p>(3) <u>原則として、一挙防音工事等^(※7)と外郭防音工事を実施した住戸が混在^{【特記事項Ⅳ】}している鉄筋コンクリート造系の集合住宅^{【特記事項Ⅴ】}（以下「RC集合住宅」という。）であって、単板プレスドアのように芯材を使用していない玄関建具^{【特記事項Ⅵ】}が設置されている一挙防音工事等を実施済みの住戸^{【特記事項Ⅶ】}</u></p>	<p>V 同一敷地内又は同一の利用目的に供されているひとまとまりの土地に複数棟のRC集合住宅が所在する場合であって、それら複数棟のRC集合住宅を同一の管理者が管理している場合を含みます。</p> <p>VI 芯材の有無を確認するため、玄関建具の型番が分かる設計図書や写真等及びカタログ等の提出が必要となりますので、詳しくは事前にご相談ください。</p> <p>VII 一挙防音工事又は追加防音工事を実施した住戸にあつては、これらの防音工事が完了した日から10年以上経過している場合に限ります。</p>
75W以上 80W未満	<p>(1) RC集合住宅であつて、防音工事を実施していない住戸</p> <p>(2) <u>原則として、一挙防音工事等^(※7)と外郭防音工事を実施した住戸が混在^{【特記事項Ⅳ】}しているRC集合住宅^{【特記事項Ⅴ】}であつて、単板プレスドアのように芯材を使用していない玄関建具^{【特記事項Ⅵ】}が設置されている一挙防音工事等を実施済みの住戸^{【特記事項Ⅶ】}</u></p>	

- (※1) 外郭防音工事 : 世帯人員にかかわらず、原則として、家屋全体を一つの区画とし、その外郭について実施する防音工事
- (※2) 一挙防音工事 : 防音工事を実施していない住宅を対象に行う防音工事
- (※3) 新規防音工事 : 防音工事を実施していない住宅を対象とし、世帯人員にかかわらず、2居室以内の居室に対して行う防音工事
- (※4) 追加防音工事 : 新規防音工事を実施した住宅を対象に行う防音工事
- (※5) 防音区画改善工事 : バリアフリー対応住宅や身体障害者等が居住する住宅等を対象に行う防音工事
- (※6) 防音建具機能復旧工事 : 防音工事により設置した防音サッシ等の取換工事
- (※7) 一挙防音工事等 : 一挙防音工事、新規防音工事又は追加防音工事



(住宅防音事業)外郭防音工事についてお知らせ

- ② 徳島飛行場及び美保飛行場周辺住宅防音事業における外郭防音工事^(※1)の対象住宅は、令和3年度から下記のとおりとなりますので、お知らせします。

区域	対象住宅（下線部分が新たに対象となった住宅）	特記事項
75W 以上 85W 未満	<p>(1) 鉄筋コンクリート造系の集合住宅（以下「RC集合住宅」という。）であって、防音工事を実施していない住戸</p> <p>(2) <u>原則として、一挙防音工事等^(※2)と外郭防音工事を実施した住戸が混在^{【特記事項Ⅰ】}しているRC集合住宅^{【特記事項Ⅱ】}であって、<u>単板プレスドアのように芯材を使用していない玄関建具^{【特記事項Ⅲ】}が設置されている一挙防音工事等を実施済みの住戸^{【特記事項Ⅳ】}</u></u></p>	<p>I 一挙防音工事等を実施した住戸の外郭防音工事と防音工事を実施していない住戸の外郭防音工事を同時期に実施することにより混在することとなる場合を含みます。</p> <p>II 同一敷地内又は同一の利用目的に供されているひとまとまりの土地に複数棟のRC集合住宅が所在する場合であって、それら複数棟のRC集合住宅を同一の管理者が管理している場合を含みます。</p> <p>III 芯材の有無を確認するため、玄関建具の型番が分かる設計図書や写真等及びカタログ等の提出が必要となりますので、詳しくは事前にご相談ください。</p> <p>IV 一挙防音工事又は追加防音工事を実施した住戸にあつては、これらの防音工事が完了した日から10年以上経過している場合に限ります。</p>

- (※1) 外郭防音工事 : 世帯人員にかかわらず、原則として、家屋全体を一つの区画とし、その外郭について実施する防音工事
- (※2) 一挙防音工事等 : 一挙防音工事、新規防音工事又は追加防音工事



住宅防音事業の事務手続きに係る押印見直し等について

住宅防音事業の補助金交付に係る事務手続においては、令和3年度から、押印を省略すること、また、印鑑証明書の代わりに、運転免許証等（運転免許証、健康保険証等）の写しを提出していただくこととなりましたので、お知らせします。

また、皆様からの希望があれば、希望届や事務手続の一部について、電子メールでやり取りをすることが可能（ただし、希望届の提出以外の手続については、スキャナーが必要となります）となりましたので、併せてお知らせします。

オンラインによる希望届の提出方法等の詳細については、当局のHPをご確認下さい。

HPアドレス:

https://www.mod.go.jp/rdb/chushi/090_juutakubouonkanren/juutakubouonkanren



なお、交付決定通知等国から発出する文書については、令和3年1月から押印を省略させていただきます。

- ご不明な点等ありましたら、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】 中国四国防衛局企画部防音対策課
TEL 082-223-7211



陸上自衛隊日本原演習場における「米軍単独訓練」の実施

令和3年3月15日から28日の14日間、岡山県の陸上自衛隊日本原演習場において、米海兵隊岩国航空基地所属の後方支援部隊が単独訓練を実施しました。日本原演習場においては、平成30年10月に初めて単独訓練を実施して以来、3回目の単独訓練となります。

同部隊は、日本原駐屯地内のグラウンドに指揮所や宿管用テント、フィールドキッチンなどからなる宿営所を設け、そこから演習場に移動してヘリパッド敷設訓練、機関銃射撃訓練、一般訓練（パトロール訓練、車両の機動演習、障害物の設置演習）、地上部隊による給油訓練を実施しました。

米軍の到着翌日には、海兵隊各部署の責任者に対し、自衛隊から訓練にあたっての注意事項等の教育が行われ、訓練中も自衛隊が状況を確認するなど、十分な安全管理のもと訓練が実施されました。

また、今回は初めてヘリ（UH-60）が飛来し、実際の機体に対して給油を行い、後方支援部隊として必要な訓練を完遂することができました。

【単独訓練の状況】

※米海兵隊提供



到着時、防衛局職員が
米軍車両を誘導



コロナ感染症対策の一環として
到着後、全隊員が検温



駐屯地内に宿営地を設営※



自衛隊から海兵隊へ注意事項等を教育



陸上自衛隊日本原演習場における「米軍単独訓練」の実施

訓練期間中に当局が実施した対応として、地域住民の安全・安心を第一に、自衛隊の協力を得て、日本原駐屯地内に現地連絡本部を設置し、24時間態勢で連絡員を配置し、地元自治体等との連絡調整、訓練期間中の演習場外周の車両による巡回、夜間の宿営地の巡回などを行いました。訓練は、事件・事故等なく終了し、28日朝、同部隊は岩国航空基地に帰還しました。

【単独訓練の状況】

※米海兵隊提供



射撃訓練を2日間実施※



ヘリパッド敷設訓練※



UH-60ヘリ飛来



地上部隊による給油訓練※



防衛局職員の巡回用車両



現地連絡本部で勤務する防衛局職員



岩国飛行場のF-35Bへの機種更新について

当局においては、昨年8月26日から岩国飛行場の関係自治体（山口県、岩国市、周防大島町、和木町、広島県、大竹市）に対し、岩国飛行場のF-35Bへの機種更新について説明を行ってきました。

米海兵隊においては、昨年10月以降、FA-18からF-35Bへの機種更新を進め、機種更新の期間中、F-35Bが順次、米本国から飛来し、あわせて移行期間中の部隊の任務を補完・支援するための部隊が岩国飛行場に派遣されていました。

機種更新は段階的に進捗し、移行期間中の部隊の任務を補完・支援するための部隊は、本年3月までに米本国に帰還するとともに、本年4月、機種更新を行っていた部隊（第242戦闘攻撃中隊）はF-35Bを独立して運用する部隊となりました。



F-35B



FA-18



米海兵隊岩国航空基地の 航空機救難消防隊による航空機事故対処訓練

令和3年3月22日、米海兵隊岩国航空基地において、米軍機などの火災や緊急時に即応する航空機救難消防隊による航空機事故対処訓練の報道公開がありました。

当該部隊は、米軍機や自衛隊機のほか、民間機も消火・救助の対象としており、今回の訓練公開は、重要な任務をこなす部隊について広く知ってもらうことが目的との説明がありました。

消火訓練は毎月一度実施し、訓練公開日には、救助隊員約10名、大型消防救難車両など計4台が参加しました。今回の訓練は、着陸装置にトラブルが発生し、胴体着陸した航空機が炎上したとの想定で実施され、訓練用の模擬航空機から激しく放出された炎を放水作業を行った隊員が迅速に消火活動を行い、被災者に見立てた人形を担架に載せて救助を行うという内容でした。



同隊は岩国航空基地に常駐し、航空機事故の際の消火、救助について専門的な訓練や教育を受けた米海兵隊員約60名で構成されています。

岩国航空基地の滑走路は軍民共用で民間も利用するため、海上自衛隊所属機また岩国錦帯橋空港の民間の事故や火災にも対応するとの紹介がありました。そのほか、地元消防や海上自衛隊岩国基地と合同で訓練も行っています。





海上自衛隊 音響測定艦「あき」引渡式、自衛艦授与式

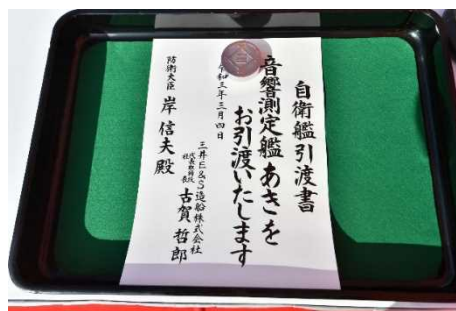
令和3年3月4日、岡山県玉野市に所在する、三井E&S造船株式会社玉野艦船工場において、中国四国防衛局玉野防衛事務所が検査・監督を担当してきた音響測定艦「あき」の引渡式及び自衛艦旗授与式が行われました。

本式典は新型コロナウイルス感染症対策のため、招待者を制限する中、園田呉地方総監、森田中国四国防衛局長、柿内玉野防衛事務所長以下事務所員、三井E&S造船株式会社の関係者が出席し、粛々と行われました。

引渡式



引渡式では防衛省代表として森田中国四国防衛局長は三井E&S造船株式会社の古賀社長から「自衛艦引渡書」を受け取り、続いて森田中国四国防衛局長より古賀社長へ「受領書」が手渡されました。



自衛艦旗授与式

引き続き、行われた自衛艦旗授与式では園田呉地方総監から間宮「あき」艦長へ「自衛艦旗」が手渡されました。その後、海上自衛隊呉音楽隊の軍艦マーチの吹奏に合わせ、自衛艦旗を捧持した副長を先頭に乗員が艦上に整列。その後、艦長が乗艦し、地方総監が艦長の出迎えのもと乗艦され、君が代の吹奏に合わせて自衛艦旗が艦尾旗竿に掲揚されました。



「あき」は「ひびき」型の3番艦で、2番艦「はりま」から29年ぶりに建造された音響測定艦です。音響測定艦は双胴船型が特徴の船型であり、SURTASSと呼ばれる曳航ソーナーを装備し、音響情報の収集を目的とする艦艇です。

「あき」は海上自衛隊呉地区に配属されました。今後の「あき」の活躍を祈念致します。

写真提供：海上自衛隊呉地方総監部

高知県の赤岡宿舎における津波対策の非常階段設置工事完了

陸上自衛隊高知駐屯地に勤務する隊員及びその家族が居住する赤岡宿舎(高知県香南市)の周辺地域は、地元香南市が作成した「香南市津波ハザードマップ」において、最大クラスの津波で6m以上の浸水が想定されるなど、今後の発生が危惧されている東南海・南海地震において甚大な被害が想定されています。

しかし、赤岡宿舎は、海岸や河川に近接し、津波の到達が想定されるまでの時間が約30分と短いにもかかわらず、最も近い避難施設まで約300mと距離があることから、居住者の安全確保が課題となっていました。

この課題を解消し、居住者が安全に避難できるよう、5階建ての赤岡宿舎の屋上を避難場所として活用することとし、これに必要な屋上への屋外避難階段や屋上の転落防止柵などの設置工事を当局調達部の発注により行い、令和3年12月に完成しました。

また、この避難施設には、より安全な避難への配慮として、夜間の避難に対応した蓄光材料を使用した階段のノンスリップや人感センサー付の外灯も設置しています。

【屋外階段】



改修前



改修後

【屋上(改修後)】



中国四国防衛局 入札監視委員会委員 局長感謝状贈呈



令和3年4月2日、当局局長は中国四国防衛局入札監視委員会を退任される川西澄氏に対し、局長感謝状を贈呈しました。

同氏は、平成28年7月から中国四国防衛局入札監視委員会として、当局の契約の透明性を確保するための審議等において多大な貢献を頂きました。

今般、入札監視委員会の委員を退任されるにあたり、これまでのご功勞に心より感謝の意を表したものです。



中国四国防衛局 退職者表彰(令和3年3月31日)

令和3年3月31日、当局局長は中国四国防衛局を退職される4名に対し、局長表彰状を授与しました。

この度、中国四国防衛局を退職されるにあたり、積年わたる防衛行政のご労苦に感謝するとともに、築かれた経験・財産を今後とも大事に引き継いでまいります。

(前列左より) 金井 功 (企画部地方協力確保室室長補佐)
新 祐紀男 (総務部総務課長)
安井 政美 (総務部契約課課長補佐)
小野 哲哉 (津山防衛事務所次長)





航空自衛隊 第3輸送航空隊司令 與儀 孝 1等空佐 御挨拶

よぎ たかし



令和3年3月31日付で第3輸送航空隊司令兼ねて美保基地司令を拝命しました與儀1等空佐です。

第3輸送航空隊は、輸送任務を通じて国内のみならず国外をも活動の場とするとともに、空に携わる操縦士、航空士、整備員を育成する役目を負っています。また、現在は空中給油・輸送機の受け入れに向けた準備を進めるなど、航空自衛隊の進化、変化の最前線にある部隊でもあります。

我が国を取り巻く安全保障環境は一層の厳しさを増し、我々自衛隊の活動も「広域」「持続」が大きなキーワードとなっており、輸送航空隊が果たさなければならない責務も、より重みを増してきていると自覚しております。航空力の発揮は、安定した基地基盤なしにはあり得ません。これからも地域との繋がりを大事にしつつ、国民の皆様から広く信頼され、的確に任務を遂行しうる心技体ともに鍛えられた隊員、輸送航空隊を作り上げるべく職務に邁進してまいります。今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



(国産輸送機 C-2)



(航空自衛隊美保基地)



中国四国防衛局 職員日記 (調達部)



(装備課 山本 健介)

私は、平成12年度海上自衛隊入隊から護衛艦いなづま水雷士を始めとして、下総航空基地、阪神基地隊、補給本部、海上幕僚監部、呉造修補給所、統合幕僚監部、舞鶴防衛事務所にて経理補給の業務に携わり、現在は装備課にて、原価監査及び監督検査業務に携わっています。

かつての配置では一人で業務を抱えて悩むことがありましたが、装備課では上司や同僚の協力をいただきながら、日々業務に取り組んでいます。

装備課の業務は、海上自衛隊の業務と異なる部分もあり、一つずつ根拠を確認しながら業務を処理するよう心がけています。装備課管轄のほとんどの会社に何かしら関わりを持たせていただいていることは、今後の勤務の糧になるかと思えます。

また、広島市民病院で生まれ、勤務地と出生地が近い場所にあることに何かの縁を感じます。海上自衛隊や他の機関に転勤になった時に役立つように、装備課での業務を通じて各種知識を修得したいと思います。



中国四国防衛局 玉野防衛事務所の紹介

玉野防衛事務所は晴れの国岡山県の南部に位置する玉野市に所在しており、昭和29年11月調達実施本部大阪支部玉野地区監督官事務所・中国地区原価監査官事務所として発足、その後、幾度かの改称を経て、平成19年9月の防衛省組織改編に伴い「中国四国防衛局玉野防衛事務所」に改称され現在に至っております。

任務としましては、岡山県、鳥取県及び四国全域(徳島県の一部を除く。)における調達品及びこれに関する役務に係る原価監査、監督検査及びその他契約の履行に関する業務を行っております。

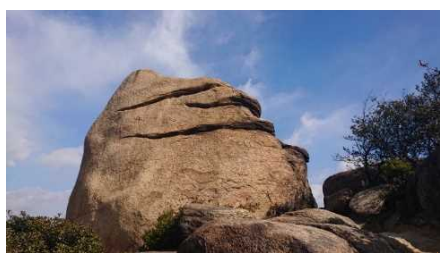
対象品目としては、船舶類(船舶、エンジン、プロペラ、錨鎖等)、石油類(燃料、潤滑油)、落下傘、缶詰等、多岐にわたる品目を実施しております。



また、岡山県玉野市には、「日本の渚百選」や「快水浴場百選」にも選ばれている、県下最大の「渋川海岸」や瀬戸内海国立公園に指定されており、巨岩や奇岩が重なり合い、山頂からは瀬戸大橋の全景や瀬戸内海の多島美が一望できる「王子が岳」等があります。

さらに、直島、豊島や小豆島を結ぶ航路があり、3年ごと(今回は2022年)に開催される瀬戸内国際芸術祭の島々への玄関口として位置しております。

グルメにつきましては、瀬戸内海でとれる新鮮な魚介を使用した海鮮料理をはじめ、みなとオアシスSea級グルメで4度グランプリに輝いた「たまの温玉めし」や、道の駅みやま公園の「紫いもソフトクリーム」、おまち堂宇野港店の「季節のかき氷」などが楽しめます。



王子が岳のニコニコ岩



たまの温玉めし



中国四国防衛局 職員日記 (玉野防衛事務所)

平成13年に入省し十条駐屯地(東京都)、富士駐屯地(静岡県)、桂駐屯地(京都府)、岡山地方協力本部、(岡山県)、現職(岡山県)と早20年が経過しました。物品管理業務を主に実施していましたが、玉野防衛事務所での業務は、人事、会計、文書、物品管理等多岐にわたり、また、玉野防衛事務所は海上自衛官が大勢を占めており、海上自衛隊の業務の進め方や防衛局の業務の進め方が、陸上自衛隊を中心に経験してきた私にとって、新鮮であるとともに、今まで触れてこなかった業務を実施することで刺激にもなっております。



(玉野防衛事務所 三田 大介)

コロナ禍の影響で、家にいる時間が長いのですが、積読本の消化や荷物整理など時間を有効活用している反面、運動不足からか体重増加が悩ましく、止まない雨はない、明けない夜はないと思ひ、落ち着いた日常生活や気兼ねなく観光旅行ができる日々と体重が戻ることを切に願っております。



中国四国防衛局 新規採用者の紹介(令和3年4月1日付)

令和3年4月1日、当局に新規採用者10名が仲間入りしました。

例年防衛本省で行われる入省式が、残念ながら昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で当局において開催されました。今年は、入省日前に14日間の健康観察を行ったり、入省日当日に部隊で健康状態の確認を行うなどの念入りな対応の上、式に臨み、当初緊張の面持ちでしたが、滞りなく終わることができました。

昨年度の採用活動を含め、先行きが不確定な状況の中、入省した10名ですが、職場の上司からの指導や防衛施設周辺地域の方々からのご意見をいただきながら、さらにたくましく、人間的に大きく成長することを期待しております。



在日米軍基地で勤務する従業員募集のお知らせ

日本の「アメリカ」で働きませんか!
「エルモ」が応援! あなたの就活!

独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】では在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。

興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。下記の支部にお問い合わせください。

【Twitter 開設】
令和3年4月より、求人情報等の募集関連情報を定期的に発信いたします。ぜひ、フォローをお願いします。
アカウント名
「在日米軍従業員求人情報 (エルモ) 」

※求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますので御利用下さい。

求人情報



求人情報提供
メールサービス



<https://WWW.lmo.go.jp>

LMO

検索



**【窓口応募受付
・お問い合わせ先】**

■岩国支部 管理課管理係
住所：岩国市中津町2-15-35
電話：0827-21-1271
担当施設：岩国飛行場

■岩国支部 呉分室
住所：呉市中央1-6-9センタービル呉駅前
電話：0823-32-7087
担当施設：広島県内の在日米軍施設



海上自衛隊呉史料館維持管理運営事業について

海上自衛隊呉史料館（愛称：てつのくじら館）は、広島県呉市の中心部に、海上自衛隊の保有する資料の展示・保存等を通じて、隊員の教育及び広く国民の皆様への広報活動を行うことにより海上自衛隊に対する理解の促進並びに地域との共生に貢献することを目的とし、国内で唯一の実物の潜水艦を展示する施設として、平成19年4月に開館して以降、令和3年3月までに約480万人の来館者を迎えました。



本施設は、開館から14年に亘りPFI事業により維持管理運営を行ってきておりましたが、第2期の事業契約が令和3年3月31日をもって終了しました。

引き続き民間事業者のノウハウを活かすPFI事業として、令和3年3月に新たに当局と株式会社呉TNHとの間で、令和3年4月1日から令和10年3月31日までの事業契約を締結しました。

当局及び海上自衛隊呉地方総監部は、地元の皆様により一層愛される施設運営を行ってまいりますので、是非お越し下さい。



展示潜水艦『あきしお』

艦内の発令所では潜望鏡体験ができます。



展示場（1階から3階まで）

展示物の多くが、部隊や艦艇で実際に使用されていたもの。貴重な資料や映像で海上自衛隊の歴史・活動を紹介しています。オリジナルメニュー・グッズを扱うショップカフェも併設しています。



海上自衛隊呉史料館 てつのくじら館 JMSDF KURE MUSEUM

広島県呉市宝町5番32号（JR呉駅から徒歩5分）

- 開館時間：10時00分から18時00分
（現在は新型コロナウイルス感染症対策のため、入替制による見学。）
- 休館日：毎週火曜日（祝日の場合は翌日休館）
- お問い合わせ：0823-21-6111

<https://www.jmsdf-kure-museum.go.jp/>

てつのくじら

